

様式第3号(第8条関係)

事業計画書

団 体 名	島本国際交流協会 Shimamoto Cultural Exchange Association
選 択 テ ー マ	にぎわい創造促進事業
実施予定事業名	姉妹都市親善大使の派遣事業
本事業における 補助金交付回数	0回
事業の目的	① 提携7周年に向けて提携の継続確認と交流の更なる促進対策の協議 (交流3ヶ年計画の協働立案) ② 親善大使隔年相互派遣の仕組みづくり (交流活動の財源確保に向けた予算化提案) ③ 親善大使公募および派遣の事業による姉妹都市認知度の向上 ④ 市民の相互自由往来を促進する組織づくり(ホームステイネットなど)
事業の対象者	異文化交流・多文化共生社会に関心を寄せるあらゆる世代の住民
事業の内容 (いつ、だれが、どこ で、何をするのか具体的 に記載して下さい。)	① 姉妹都市親善大使の公募要項協議(5月) ② 広報および掲示板ポスター掲示で募集要項の公示(7月) ③ 親善大使の選任(8月) ④ 姉妹都市親善大使隔年交互派遣を含む交流計画の事前協議(9月) ⑤ 親善大使を約10日間派遣(10月～翌年2月)、親善大使帰国報告に基づき姉妹都市交流3ヶ年計画の策定
周知(募集)方法	広報しまもとへの掲載、町の掲示板にポスターを掲示
実施場所	島本町内(ふれあいセンターなど)にて協議
実施時期・回数	4月以降8月まで最低毎月1回実施、 10月～翌年2月親善大使約10日間派遣、帰国後に交流計画を策定
参加予定者数	親善大使応募者(想定数名)、選任大使1名、島本町国際交流事業推進会議出席者若干名、島本国際交流協会理事若干名、総勢約十数名
事業の効果 (特に補助金で実施する 内容をアピールして 下さい。)	① 今後の姉妹都市提携の継続・交流促進の再確認 ② 双方合意に基づく交流活動の計画化(定例化) ③ 親善大使相互訪問に連携した活動展開(例:Japan Week / Kentucky Week 設定)による文化交流祭として年間行事化) ④ 日本文化の紹介活動を通じて町内文化活動団体に活躍の機会提供 ⑤ 親善大使公募・選任・派遣の過程で住民の姉妹都市の認知度向上 ⑥ 希望に満ち世界に羽ばたく国際感覚豊かな若人の育成
今後の展開	補助金交付終了後の自立に向けた展望等
	① 姉妹都市交流3ヶ年計画に基づき相互派遣費用の予算化を目指す ② 親善大使相互派遣と併せて文化交流の年間行事化を目指す ③ 姉妹都市交流担当窓口の常設、学校間のオンライン定期交流、ホームステイや語学留学支援活動の展開を図る
	事業の最終目標・到達点等 姉妹都市がひとつのコミュニティーの如く進化し、ホームステイネットワークを活かした気軽な住民相互の往来を促進。オンライン交流では不可能な異文化体験の活性化を通して異文化相互理解を深めて、外国人にも住み続けたい町(多文化共生社会)の実現を図る。

※補助対象事業が複数ある場合は、上の表を追加し、事業ごとに状況を記載すること。

※参加予定者数欄には、可能な範囲で参加者の内訳割合を記載すること。また、複数回実施する場合は、総数は延べ人数を記載し、1回当たりの平均人数も記載すること。